

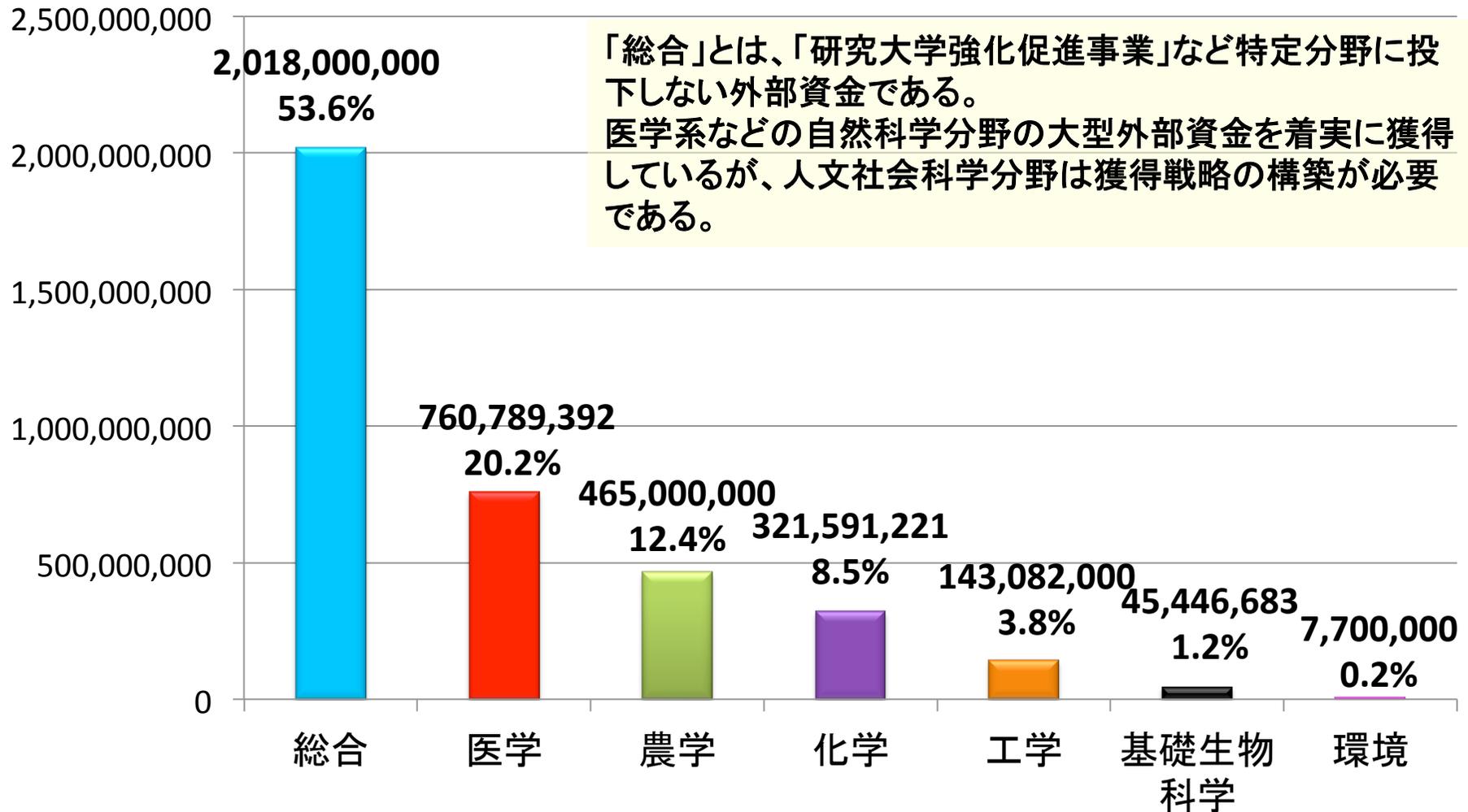
URA獲得外部資金の概要(2012.9 - 2014.12)



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

URA設置2年半での獲得外部資金の合計は37.6億円

円



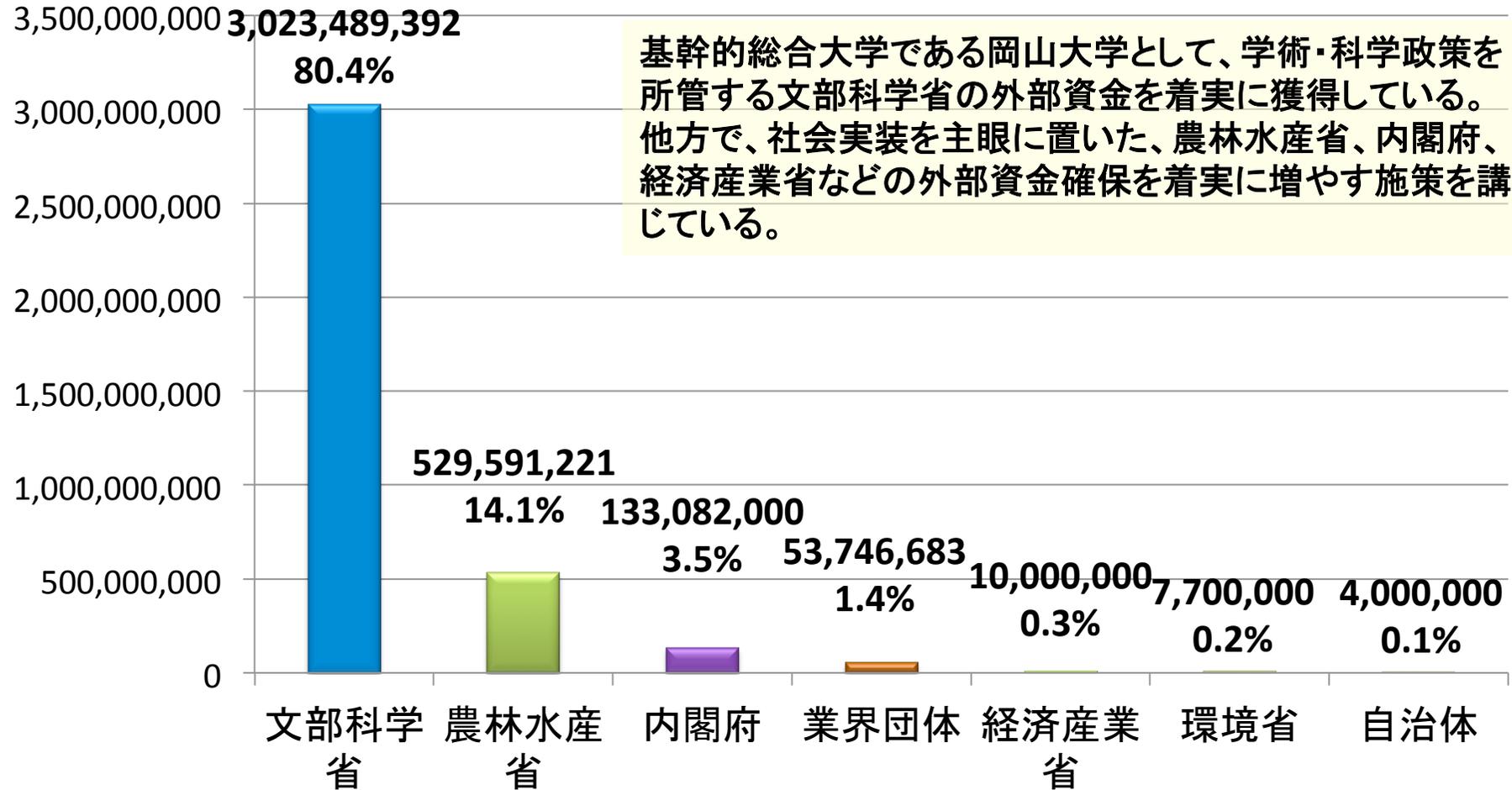
【分野別】

URA獲得外部資金の概要(2012.9 - 2014.12)



岡山大学
OKAYAMA UNIV.

円



基幹的総合大学である岡山大学として、学術・科学政策を所管する文部科学省の外部資金を着実に獲得している。他方で、社会実装を主眼に置いた、農林水産省、内閣府、経済産業省などの外部資金確保を着実に増やす施策を講じている。

【獲得先別】

岡山大学リサーチ・アドミニストレーター(URA)への視察(研究機関)

これまでに多くの研究機関からの視察を受け入れたり、企業関係者との交流を実施してきた。その概要を、下記に紹介する。

【視察に来られた研究機関】

- | | | |
|-------|-----|-------------------------------------|
| 2013年 | 3月 | 東京大学 |
| | 4月 | 山口大学、香川大学 |
| | 7月 | 立命館大学 |
| | 8月 | 横浜国立大学 |
| | 12月 | 愛媛大学 |
| 2014年 | 2月 | 自然科学研究機構、統計数理研究所、国立極地研究所、
電気通信大学 |
| | 5月 | 豊橋技術科学大学 |
| | 6月 | 情報・システム研究機構 |
| | 8月 | 奈良先端科学技術大学院大学 |
| | 10月 | 名古屋市立大学 |

14研究機関、30名以上が訪問 (2014.10現在)

【視察に来られた研究機関の目的】

- ・自身の機関でURAを設置する際の情報収集
- ・岡山大学URAは、独自の運用(欧米本来の運用)を行っているとの話を聞き、その活動取り組みを学ぶため
- ・少数のURAで最大限の効果を発揮している活動取り組みを学ぶため 等



視察に来られた方々と

【視察に来られた研究機関の本学URAに対するおもな感想】

- ・非常に大きな権限を預けられている点が良い。
⇒多くの機関では、権限が非常に小さいため、ほとんど事務仕事になっている。
- ・URAが事務職ではないのが良い。企画型裁量労働制であるのが良い。
⇒多くの機関では、事務職と同じ扱い。「9時5時仕事」では無理な職務ということの理解が所属機関にまったくない。企画型裁量労働制は極めて稀。
- ・URA組織がフラットで、上下関係が一切なく、個々人が即判断できるのが良い。
⇒多くの機関では、職位と権限が細かく分かれており、下の者は庶務に追われる(故に長続きしない)。決定にURA内の上司の許可(稟議等)が必要。
- ・執行部(学長、理事)と非常に近いポジションであるのが良い。意思決定が早く、URA考案の研究運営が可能であるのが良い。
⇒多くの機関では、執行部と協議して物事を決めるというポジションにない。

岡山大学リサーチ・アドミニストレーター(URA)と企業の交流

2012(H24)年9月 URA執務室設置以来、企業(特に役員、事業本部長職部員レベル)との人的交流を積極的に実施。

TOPIX Core30 + Large70企業を中心に地元、海外企業100社以上と交流。

【企業から寄せられた本学URAに対するおもな声:良い点】

- ・単に「研究」だけではなく、「ビジネスの話」ができる人材(URA)がいることは非常に良い(企業文化を熟知している)。
 - ⇒本学URAは、全員博士号取得者である。またビジネス経験を有する人材を確保しているため、研究だけの話で終わらない思考を持ち合せているため。
- ・数字(財務諸表など)が読め、企業経営・企画力に長けた人材がいることは非常に良い。
 - ⇒逆を言えば、「大学の人には数字が読めない」と認識されていることは問題。
- ・スピードが速い。いつでも、どこでもすぐに会談が持て、その場で即決できる。
 - ⇒前述の通り、個々のURAに大きな権限を与えられ、自由に行動しているため。(研究担当理事が全責任を受け持つ覚悟とその覚悟を裏切らない信頼関係を築いている)
- ・上記の点から、非常に話しやすい(ファーストコンタクトを取りやすいポジション)。

【企業から寄せられた本学URAに対するおもな声：考慮すべき点】

- ・そもそも「URA」という職業が不明。
 - ⇒URAのフライヤー、ホームページ、メーリングリスト等の作成やURA名称をわかりやすくした。
 - 各大学のURAや関係機関と共にURAという職業を紹介していく必要がある。
- ・URA個々人の持つネットワーク、信頼関係で成り立つ点が非常に大きい。そのため、そのURAがいなくなると岡山大学とのつながりも消える恐れが極めて高い。
 - ⇒教職員の方に「企業文化」を引き継ぐ必要がある。無期雇用への転換を考慮。
- ・同じURAが競合企業とも類似プロジェクトを担っていることがあるため、機密性の点で100%とは行かない点がある（現在は、機密保持サインと信頼関係でカバー）。
 - ⇒URA内で仕事を分散する必要がある。また機密保持のルールを制定するなどの必要もある。



岡山産学官金連携交流会の主催



海外企業 (Saltigo@Germany) と折衝